

ISOZAKI

アーティストブック
GUNMA 2024

今から50年前、1974年10月17日に開館した群馬県立近代美術館の建築は、当時新進気鋭の建築家として注目されていた磯崎新(1931-2022)の設計によるもので、翌年には日本建築学会賞を受賞しています。その後当館は増改築によって機能を拡張しながらも当初の建築コンセプトをもち、世界的に活躍した磯崎の初期の代表作として現在も高く評価されています。
一昨年末、惜しまれながらこの世を去った磯崎新が遺した当館建築の魅力は、どこにあるのでしょうか? 開館50周年を機に、たのしみながら一緒に探っていきましょう。

群馬県立 近代美術館の

建築家

磯崎新

たのしもう

建築家・磯崎新が遺したものを

主催：群馬県立近代美術館
企画協力：前橋工科大学 白井研究室 協力：朝日印刷工業株式会社/ミツウアートギャラリー
DOCOMOJO Japan / 県立公園ア・テラー・ユー群馬の森 後援：日本建築学会関東支部群馬支所

2024年10月12日(土)～11月10日(日)

休館日：毎週月曜日(休日の場合は開館し翌日休館) ※群馬県民の日(10/28)は開館
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
参加費：無料 ※一部有料のイベントがあります。 ※開催中の展覧会をご覧になる場合は観覧料がかかります。

1. 建築のライティング・プロジェクト「BUILDING DIGNITY」

当館の開館記念日、そして県立公園「群馬の森」の開園記念日でもある 10月17日にあわせ、当館内に原色のライトを設置し、日没後の公園に幾何学的グリッドで構成された当館の建築を浮かび上がらせます。

10月12日(土)～20日(日) 17:00～18:30 観覧無料

※美術館閉館後に、館外からご覧いただけます。館内には入れません。
※「群馬の森」はこの期間、特別に開園時間を18:30まで延長します。
※お車で越しの際は「群馬の森」第1駐車場をご利用ください。それ以外の駐車場は17:30で閉門となります。
企画・設計：RGB BUILDING WORKSHOP (臼井敬太郎+八木健太郎)
協力：県立公園アイ・ディー・エー群馬の森



(参考図版) BUILDING DIGNITY 館田市浜井小学校 2018年

2. 記念トーク「山口晃少年がみた群馬県立近代美術館」

開館当初の当館を訪れた山口晃(1969年東京都生まれ、群馬県桐生市育ち)は、何を見て、何を感じたのでしょうか。そしてその経験は現在の画家としての活動にどのような影響を与えているのでしょうか。臼井敬太郎(前橋工科大学准教授)による当館建築の解説とあわせ、当館を出発点として古今東西に広がる山口晃のトークをお楽しみください。

10月13日(日) 14:00～16:00 要申込

登壇者：山口晃(画家) / 臼井敬太郎(前橋工科大学准教授)
会場：群馬県立近代美術館 2階 講堂
定員：180名(先着順)
協力：ミヅアートギャラリー



撮影：曾我部洋平

山口晃(画家)

1969年東京都生まれ。群馬県桐生市に育つ。東京藝術大学在学中に日本の絵画様式を西洋由来の油彩で描く試みを始め、《深山寺参詣圖》を卒業制作展で発表。1996年同大学院美術研究科絵画専攻(油画)修士課程修了。日本の現代絵画を問い直す絵画制作のほか、立体、漫画、インスタレーションなど表現方法は多岐にわたる。書籍や新聞小説の挿絵、パブリックアートなど幅広く活動し、著書『へんな美術史』は第12回小林秀雄賞受賞。2013年群馬県立館林美術館で個展を開催した。

〔申込方法〕

右記のQRコードを読み取り、電子申請システムLoGoフォームより申し込みください。

〔申込期間〕

2024年9月25日(水) 9:30～(定員に達し次第受付終了)



(特別展示) 山口晃《深山寺参詣圖》1994年 群馬県立館林美術館で開催
【展示期間：9月21日～11月10日】

3. 「日本におけるモダン・ムーブメントの建築290選」選定プレート贈呈式

今年、当館はDOCOMOMO Japanによる「日本におけるモダン・ムーブメントの建築290選」に選ばれました。その贈呈式にあわせて、記念講演と茶会を行います。

10月20日(日)

■贈呈式・記念講演 13:30～15:00 参加無料

〔贈呈式〕 出席：鯉坂徹(DOCOMOMO Japan 代表理事、鯉坂建築研究所代表)
岡部昌幸(群馬県立近代美術館特別館長、帝京大学名誉教授)

〔記念講演〕 講師：西岡弘(元西日本工業大学教授、元西岡弘建築工房主宰、元磯崎新アトリエ工員)
司会進行：藤木竜也(DOCOMOMO Japan 理事、千葉工業大学教授)

会場：群馬県立近代美術館 2階 講堂

共催：一般社団法人DOCOMOMO Japan

■茶の湯×建築 | 群馬県立近代美術館 12:00～16:00 参加費2,000円/要申込

席主：群馬県茶道会青年部、茶道裏千家淡交会群馬県青年部

建築説明：亀井靖子(DOCOMOMO Japan 元理事、日本大学生産工学部准教授)

会場：群馬県立近代美術館 1階 茶室「白鷺庵」

申込方法：Peatixにて9月下旬よりチケット受付予定

右記のQRコードから申し込みください。

※詳細はDOCOMOMO Japan ホームページをご確認ください。

共催：近現代建築茶の湯会

後援：一般社団法人DOCOMOMO Japan



〔開催中の展覧会〕

開館50周年記念

群馬からみる日本の美 戸方庵井上コレクション5つの扉
2024年9月21日(土)～11月10日(日)

〔交通案内〕

○電車・バス

JR 高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ラインまたは上越・北陸新幹線が高崎駅下車(新幹線は東京駅より約60分)。JR 高崎駅東口より、市内循環バスぐるりん「群馬の森線」9系統(約38分)、10系統(約26分)、または「岩鼻線」15系統(約25分)で、いずれも「群馬の森」下車(200円)。

○タクシー

JR 高崎駅東口より約20分。JR 新町駅より約10分。

○車

関越自動車道の「高崎玉村スマートIC」(ETCのみ)より、国道354号を高崎方面に向かい、県道13号を左折し約8分。上信越自動車道の「藤岡IC」高崎方面出口より出て、県道13号を前橋方面に向かい約10分。北関東自動車道の「前橋南IC」より、県道13号に出て藤岡方面に向かい約15分。県立公園「アイ・ディー・エー群馬の森」駐車場をご利用ください(無料)。

4. 建築の見どころをわかりやすく解説!

一辺12mの立方体を基本単位とする当館の建築には、磯崎新による様々なしかけが隠されています。前橋工科大学の学生がそれぞれの目線でそのしかけを読み解き、「ここを見てほしい!」という館内各所のスポットに、解説パネルを設置します。※展示室内をご覧になる際は観覧料がかかります。

5. 建築をモチーフとしたミュージアムグッズをプレゼン!

前橋工科大学の学生によるアイデアを館内に掲示しますので、お気に入りの案に投票してください。投票をもとに選ばれた案は、商品化して当館ミュージアムショップで販売する予定です。

協力：朝日印刷工業株式会社

〔開館50周年記念コンサート～50年を音楽とともにたどる～〕

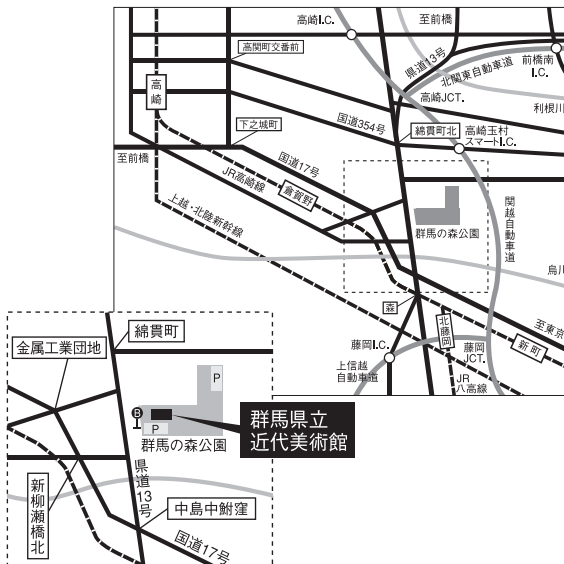
10月20日(日) 17:00～18:00 / 会場：エントランスホール

演奏：長谷川幹人(電子オルガン) / 主催：群馬県立近代美術館友の会

〔群馬の森イベント案内〕

ミニライブ(soul record)・農産物マルシェ・クラフト体験・食育教室ほか

10月20日(日) 10:00～15:00 / 場所：正面入口芝生広場



群馬県立近代美術館 THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA 〒370-1293 高崎市綿貫町 992-1
Tel. 027-346-5560 Fax. 027-346-4064
https://mmag.pref.gunma.jp